

スタジオ・キュー StudioQ

2019
増刊号

発行

住友セメントシステム開発株式会社

主な記事

- ・ JIS A 5308 対応情報
- ・ 新元号対応について

PC アプリケーション事業部 URL : <https://www.sumitem.co.jp>

ユーザー HP アドレス URL : <https://www.sumitem.co.jp/service/supernet/customer>

JIS A 5308 対応情報

JIS A 5308 の対応に関しては、現在開発を進めており最新版で対応出来るようになります。

お客様への配布予定は5月のゴールデンウィーク明けを予定しております。

また、改正に対する詳しい操作手順につきましては製品版と共に配布する説明ポイントで紹介いたします。

1 種類及び区分

普通コンクリート スランプフローを追加。

コンクリートの種類	骨寸	スランプ又はスランプフロー	呼び強度													
			18	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	60	曲4.5
普通コンクリート	20,25	8,10,12,15,18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
		21	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
		45	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
		50	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-
		55	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-
	60	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	
	40	5,8,10,12,15	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	

JIS 読み込みにおいて、普通 20 の場合にスランプとフローを選択できるようにし、スランプの場合には「8,10,12,15,18,21」、フローの場合には、「45,50,55,60」を読み込むようにします。

軽量コンクリート

スランプ 10cm を削除。

高強度コンクリート

スランプ 10cm を削除。スランプ 12,21cm、スランプフロー 45,55cm を追加。
呼び強度 46 以上を高強度コンクリートとして、呼び強度を 1 (N/mm²) 間隔で指定。

スランプ・空気量・フロー基準値登録の フロー基準値

対応方法

45±7.5cm、55±7.5cmは必要であれば手入力で追加します。

スランプフロー材料分離の確認

対応方法

必要であれば日次データ入力の摘要欄に「不分離」などの分離目視結果を記入してください。

2 レディーミクストコンクリート配合計画書

配合計算設定に JIS区分「2019」を追加

※JIS区分を「2019」に変更する事でレディーミクストコンクリート配合計画書、アルカリ総量計算書、塩化物含有量試験表が最新のレイアウトに変更されます。

対応方法

「配合設計」-「丸め混合方法の登録」-「計算値丸め方法」の「JIS区分」に「2019」を追加します。

指定事項が必須項目と任意項目に分離

対応方法

JIS区分を「2019」にする事でレイアウトが変わります。

安定化スラッジ水の使用有無を記入する欄が追加

対応方法

配合計画書入力画面に「安定スラッジ水の使用有・無」の入力項目を追加します。 ※有無に○が付きます。

セメント	生産社名 住友大阪セメント株式会社	密度(g/cm ³) 3.15	Na2Oeq(%) 0.75							
混和材	製品名 AE1	種類 -	密度(g/cm ³) -	Na2Oeq(%) -						
細骨材	種類 砕砂	産地又は品名 鳥取産	ASRによる区分 A 化学法	粒の大きさ 5.00以下	粗粒率 2.86	絶乾 -	表乾 2.85	微粒分量 5.0以下	塩化物量 -	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
粗骨材	種類 砂利	産地又は品名 香住産2505	ASRによる区分 A 化学法	粒の大きさ 25~5	粗粒率又は実積率 60	絶乾 2.50	表乾 2.82	微粒分量 1.0以下	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
混和剤	製品名 サンローK	種類 AE減水剤(標準形I種)	Na2Oeq(%) 0.30	回収骨材 -	細骨材 -	粗骨材 -	安定化スラッジ水の使用 無			
水	区分 回収水	スラッジ -	目標固形分率 -	%						

細骨材の塩化物量k)	-	%水の区分l)回収水	-	目標スラッジ固形分率m)	-	%
回収骨材の使用状況n)	細骨材	-	粗骨材	-	安定化スラッジ水の使用の有・無	○

注記の水セメント比及び水結合材比の記載方法

セメントのみ使用時は水セメント比のみ記入。高炉スラグ微粉末、フライアッシュ、シリカフェーム及び膨張材を結合材として使用した場合、水結合材のみまたは水結合材と水セメント比の両方を記入

対応方法

従来通り、使用材料に水結合材を使用した場合には、水結合材比を出力します。

水セメント比を出力する場合には手入力します。

※手入力する場合にはマニュアル作成で行います。尚、新バージョンでは「配合計画書」-「設定」-「一覧表・抜出」画面で「マスタ選択時の共通処理」でデータ自動保存を行うに設定して頂くと、変更内容が物件配合ごとに自動で保存されますので、次回以降は保存済みのデータを使用することが出来ます。

水セメント比	55 %
水結合材比	50 %
細骨材率	43.0 %

細骨材の塩化物量k)	-	%水の区分l)回収水	-	目標スラッジ固形分率m)	-	%								
回収骨材の使用状況n)	細骨材	-	粗骨材	-	安定化スラッジ水の使用の有・無	○								
配合表o) kg/m ³														
セメント	混和材	水	細骨材				粗骨材				混和剤p)			
	①	②	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③		
343	1	-	172	766	-	-	1006	-	-	7.64	-	-		
水セメント比 q)	55 %		水結合材比 q)	50 %									細骨材率	43.0 %

運搬時間の限度を変更した場合の記載

対応方法

必要な場合には、備考のマスタに「運搬時間の限度を変更した場合：○○時間」を追加する事で対応できます。

※パブリックコメントの回答でも「運搬時間の限度を変更する必要が生じない場合は、配合計画書の備考欄への記載は必要ありません。」となっております。

備考欄	運搬時間の限度を変更した場合：○○時間	備考初期比												
配合表o) kg/m ³														
セメント	混和材	水	細骨材			粗骨材				混和剤p)				
	①	②	①	②	③	①	②	③	④	①	②	③		
291	-	-	160	249	582	-	1014	-	-	3.23	-	-		
水セメント比 q)	55.0 %		水結合材比 q)	50 %									細骨材率	43 %
備考	運搬時間の限度を変更した場合：○○時間			骨材混合比	細骨材①:②			30.0:70.0						
				(質量混合)										

注釈の内容が変更

対応方法

水セメント比及び水結合材比、付着モルタル及び安定化スラッジ水を使用した場合のアルカリ量に関する注釈が追加されます。

アルカリ総量計算書の変更

対応方法

アルカリ総量計算書に「⑥コンクリート中の安定剤に含まれる全アルカリ量」が追加されます。同欄にコンクリート中の安定剤に含まれる全アルカリ量の計算した値を手入力すると、アルカリ総量に加算されます。

3 塩化物含有量試験表

塩化物含有量試験表の変更

対応方法

普通エコセメントと再生骨材 H の入力欄がそれぞれ設定で出力できるようになります。試験結果の平均値に、普通エコセメントと再生骨材 H の入力値を加算し、総合計を表示出来るようにします。又、合否判定は、加算後の値で行います。

備考に日次データの強度試験成績書摘要欄を表示する

普通エコセメントの塩化物量を表示する 再生骨材Hの塩化物量を表示する

試験	1	2	3	塩化物含有量(kg/m³) = 塩素イオン濃度(%) × 単位水量(kg/m³)
測定機器の読み	1.7	1.8	1.6	1.00
塩素イオン濃度(%)	0.0048	0.0054	0.0042	規格値 0.300 以下
単位水量(kg/m³)	179			平均値 0.009
塩化物量(kg/m³)	0.009	0.010	0.008	判定 ◎
エコセメント	Y.YYY	再生骨材H	Z.ZZZ	合計 0.009

試験	試験日 2019年 2月 1日		
測定器名			
試験番号	1	2	3
試験値(%)	0.0048	0.0054	0.0042
塩化物量(kg/m³)	0.009	0.010	0.008
平均値	0.009		
エコセメント	Y.YYY		
再生骨材H	Z.ZZZ		
合計	0.009		
規格値	0.300 以下		

4 レディーミクストコンクリート納入書

※納入書に関しては出荷管理も合わせてご利用いただいているお客様が対象となります。

また、準備作業としてお客様による納入書用紙の準備と、弊社による納入書レイアウト設定等の変更が必要となります。

伝票切替に 2019 を追加

対応方法

「出荷管理システムパラメータ」 - 「納入書設定 2」で「JIS2019」に伝票を切り替えます。

安定化スラッジ水の使用の有無欄を追加

対応方法

「物件配合」、「出荷予定」、「出荷指示」に「安定化スラッジ水の使用の有無」を追加します。

※納入書印刷時に、有と無のどちらかに○が印字されます。

※物件配合の安定化スラッジ水の使用の有無については品質管理と共通の項目であり、配合計画書に出力済み場合がありますので、出荷管理では変更できません。出荷管理で変更する場合は出荷予定等で変更してください。

物件配合メンテナンス(訂正)

施工者: スミテム建設株式会社
現場名: 建築現場(民需・非住宅)

配合: 生コン | 18152 | 普通 - 18 - 15 - 25 - N

安定化スラッジ水の使用: **有**

出荷指示 [品目: 18152 普通-18-15-25-N 標準配合]

出荷No.: 1 | 配合計画書未提出

安定化スラッジ水の利用: **有**

出荷予定

出荷No.: 2

安定化スラッジ水の使用: **無**

78* 出荷

出荷No.: 自動 | 配合計画書未提出

安定化スラッジ水の使用: **無**

セメントだけを使用した場合は、水セメント比を記入。
高炉スラグ微粉末、フライアッシュ、シリカフェーム、または膨張材を結合材として使用した場合は、水結合材比だけを記入するか、水結合材比及び水セメント比の両方を記入。

対応方法

従来通り、使用材料に水結合材を使用した場合には、水結合材比を出力します。

水セメント比を出力する場合には商品マスタの納入書出力配合表にて水セメント比を手入力します。

納入書出力配合表

水セメント比: **55**

No. 1
2019年 3月 14日
レディーミクストコンクリート納入書
AB1234567

住友セメントシステム開発株式会社
住吉・錦糸・スミテム 殿
東京都港区芝大門
スミテム販売株式会社
TEL: 03-6403-0000
FAX: 03-6403-0000

納入場所: スミテム第1浄水場改修工事
運搬車番号: 1 大雪
納入時刻: 10時 17分
納入容積: 1.00 m³ 累計 1.00 m³

呼び方: 普通 18 18 25 N

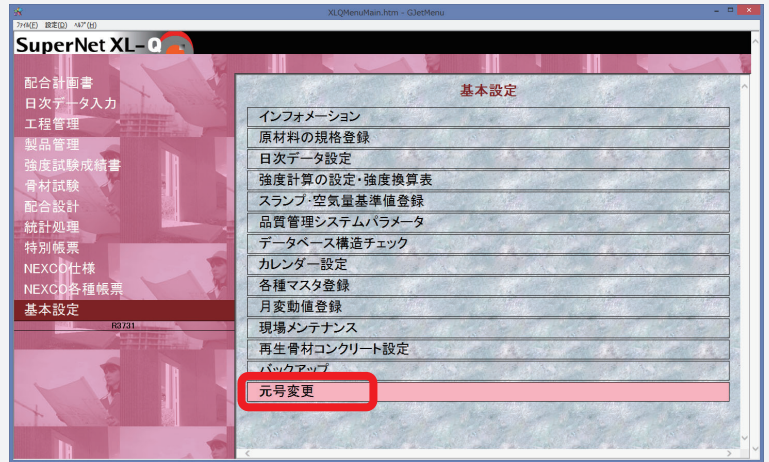
配合表 (kg/m³):
セメント 264 1 172 853
粗骨材 1006 5.88

水セメント比: **55** % 水結合材比: **50** % 骨材率: **43** %

新元号対応について

新元号で帳票を印刷する

元号設定ツールを使用し開始日と「新元号」を設定する事で帳票に新元号で印刷する事が可能になります。尚、カスタマイズに関しては、仕様の見直しや個別でのバージョンアップ対応が必要になります。



元号設定

元号設定 - TSetGengo

No.	開始日	正式名称	略称
1	1989/01/08	平成	H
2	2019/05/01	元号	G

元号編集

開始日: 2019/5/1

正式名称: 元号

略称: G

OK キャンセル

新元号の「正式名称」、「略称」、開始日(2019年5月1日)を設定します。

印刷イメージ

システムパラメータ設定

共通設定 | 管理区分設定 | 商流設定 | システムドライブ設定 | 各種コー

年号区分(表示用) **和暦**

基本丸め方法 **四捨五入** 切り上げ丸め方法

請求配合初期値 **伝票配合請求**

システムセットアップの共通設定にある「年号区分(表示用)」を「和暦」に設定します。

※和暦の場合には、2019/04/30以前のデータは「平成」で出力します。

配合計画書

レディーミクストコンクリート配合計画書

元号 1年 5月 1日

住友セメントシステム開発株式会社
大阪市中央区安土町3-2-14
(06)6271-7110

配合計画者名 スミテム 太郎

工事名称	スカイツリー
所在地	
納入予定時期	
本配合の適用期間 a)	(標準配合)
コンクリートの打込み箇所	

強度試験成績書

強度試験成績書

元号 1年 5月 1日

住友セメントシステム開発株式会社 殿

スミテム生コン株式会社 深川工場
135-1234 東京都江東区旗江2-31-36
TEL: 03-5600-1234
FAX: 03-5600-1234

工事名称	スカイツリー				
打込箇所					
種類による記号	呼び強度	スラブ又はスラブフロー	粗骨材の最大寸法	セメントの種類	
		cm	mm	による記号	

住友セメントシステム開発株式会社

本社	●〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 芝NBFタワー 3F	TEL(03)6403-7864	FAX(03)6403-7873
大阪支店	●〒541-0052 大阪市中央区安土町 3-2-14 イワタニ第二ビル 4F	TEL(06)6271-7110	FAX(06)6271-7122
札幌営業所	●〒060-0003 札幌市中央区北3条西 2-10-2 札幌HSビル 10F	TEL(011)232-1748	FAX(011)221-1017
福岡営業所	●〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-2-5 紙与博多ビル 8F	TEL(092)476-3377	FAX(092)476-3378
名古屋営業所	●〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 2-14-19 住友生命名古屋ビル 3F	TEL(052)566-2500	FAX(052)566-3285
東北営業所	●〒980-6003 宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1 SS30(住友生命仙台中央ビル)3F	TEL(022)263-1460	FAX(050)3737-0922